

ショウガ

(ショウガ科)

高温と日当たりを好む。乾燥には弱いので、水の便のよいところで栽培する。

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普通					定植					収穫			
											葉ショウガ	根ショウガ	

1) 適地

乾燥に弱いので、保水力があり、夏場の乾燥時にも灌水できるように水の便がよいところが適地です。また、日当たりのよいところを好み、日陰では十分に育ちません。

2) 品種

小ショウガ、中ショウガ、大ショウガに区分され、葉ショウガには小ショウガを、根ショウガとしては中、大ショウガを用いるのが一般的です。

小ショウガ：三州、金時

中ショウガ：房州、中太、らくだ

大ショウガ：おたふく、インド、近江

3) 作り方

【圃場の準備】連作できないので、4～5年作付けしていない場所で栽培します。定植1か月前に1m²当たり堆肥3kg、苦土石灰100g、BMようりん30gを施し、土とよく混ぜておきます。定植1週間前に、緩効性肥料を1m²当たり100g施用して深く耕し、幅100cmの低い畝を立てます。

【種ショウガの準備】1個80～100gに分けた種ショウガが1m²当たり8～10個必要です。病気がない健全なものを購入します。

【定植】4月下旬～5月上旬に植え付けます。幅100cmの畝に、株間30cmの1条植えで深さは7cmとします。

【追肥と土寄せ】追肥は6月上旬に高度化成肥料を1m²当たり20g、株間に施して、軽く中耕して土寄せします。2回目は7月上旬に高度化成肥料を40g施し、その上に厚く敷きワラをかけます。3回目は8月下旬に高度化成肥料を20g、畝肩に施します。8月以降は根を切らないために、中耕・土寄せはしません。

【収穫】9月中下旬から小さな新ショウガが収穫できます。10月に収穫すると繊維が少なく、加工や貯蔵に使えます。ヒネショウガ（植え付けた種ショウガ）はそのまま残っているので、すりおろし用に使えます。翌年の種ショウガに利用する場合は11月になってから収穫し、14～15℃で一定した湿度の保てるところで貯蔵します。

4) 病虫害防除

地下茎や根が腐敗する根茎腐敗病が発生し大きな被害を受けることがあります。健全な種ショウガを用い、連作しないように注意します。地上部が枯れる株が出たら抜き取り処分します。害虫ではメイガ類が発生しますので、早めに防除します。